



講師 兵庫県立人と自然の博物館名誉館長／兵庫県立丹波の森公苑長／京都大学名誉教授
河合 雅雄 氏

霊長類学は欧米で形態学と心理学を中心に起こったが、1930年代後半に衰退した。しかし戦後、日本で霊長類の社会を対象に全く新しい装いで登場した。今西錦司によって提唱された生物社会学に魅せられた動物学教室の学生と院生によって、1948年にニホンザルの生態と社会の研究が始まった。1952年に京都大学霊長類研究グループが結成され、霊長類学樹立の本格的な研究が開始された。当時は食糧も十分でなく、サツマイモを弁当に腰につけて野猿を追った。

1956年に犬山市に（財）日本モンキーセンターを設立し、世界の霊長類学の拠点として活躍した。同センター発刊の"**Primates**"は霊長類学の最初の国際学術雑誌で、今も世界中の研究者が投稿し、これに載れば一流の論文として認定されている。50年代後半のタイでのテナガザル、アフリカのマウンテンゴリラの野外研究を始めとし、海外の野生霊長類の研究が活発に行われ、1968年には犬山市に京都大学霊長類研究所が設立された。霊長類学のプロジェクトXについて語りたい。

日時と場所	平成16年11月16日（火曜日） 18時15分～19時45分（開場17時30分） 京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール
参加費用	無料
定員	先着500名
対象	学生・教職員及び一般の方々
申し込み	当ページ申込フォームまたは往復はがきにて下記までお申し込みください。 なお、往復はがきによる申し込みについては、「第7回未来フォーラム参加」と明記の上、住所、氏名、年齢、職業、連絡先を記入し、返信はがきには、必ずご自身の宛先を記入してください。
問い合わせ先	〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学百周年時計台記念館事務室 TEL 075-753-2285（月～金曜日 9時00分～17時00分） http://www.kyoto-u.ac.jp/top2/11-top.htm